

特集：医療法人 生愛会グループ 本間達也理事長の耳順を祝う会  
 2023年度 医療法人 生愛会グループクリスマス会開催

# 生愛TIMES



撮影者：理事長 本間達也

2023年度(令和5年度)

第32号

秋冬号



SEIAIKAI  
HEALTHCARE  
CORPORATION



SEIAI WELFARE  
PROJECT  
GROUP

## 目次

|                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| 年頭所感 本間達也理事長                      | ／1   |
| シリーズ人間学<br>今泉先生の苦言・直言！！           | ／2   |
| 医療法人 生愛会グループ<br>本間達也理事長 耳順祝う会     | ／3～4 |
| 医療法人 生愛会グループ<br>クリスマス会            | ／5～6 |
| 福島北警察署八年始挨拶<br>生愛ヒルトップ家族懇談会       | ／7   |
| 施設内研修・石山波恵先生健康体操<br>能登半島地震緊急支援募金  | ／8   |
| 生愛会グループ作品展<br>福島市福祉作品展受賞          | ／9   |
| 大笹生ふれ愛交流・笹谷民生委員見<br>学・笹谷社協歳末義援金授受 | ／10  |
| 生愛会グループ敬老会                        | ／11  |
| 全国老健大会in宮城                        | ／12  |
| 社会福祉法人<br>生愛福祉事業団 誕生祭             | ／13  |
| 新しい技能実習生                          | ／14  |



本館

医療法人 生愛会 附属介護老人保健施設  
生愛会ナースングケアセンター



2  
号館

社会福祉法人 生愛福祉事業団  
特別養護老人ホーム 生愛 ガーデン  
グループホーム 生愛レジデンス



4  
号館

地域複合型総合施設  
生愛会  
生愛会 総合リハビリテーション医療ケアセンター

医療法人 生愛会  
社会福祉法人 生愛福祉事業団

# 年頭所感 「備えよ常に」

医療法人 生愛会グループ 理事長

総院長  
医学博士 本間達也



新年明けましておめでとう  
ございます。旧年中はいろいろと皆様方に大変お世話になりました。昨年12月に開催されました、当法人の常務理事が発起人となり企画されました私の耳順の会では、万障繰り合わせの上ご出席を賜り、企画・準備の段階から本当に皆様にはお世話になり、当日も盛會に終わり心より感謝申し上げます。

能登半島での大地震があり、その翌日は羽田で飛行機による衝突事故が起こり、非常に波乱な年明けになりました。賀春交歓会にて市長が話された中で、実は13年前の東日本大震災が発生した時、いち早く応援をしてくれたのが輪島市だったそうです。そこで即刻1日に福島市の幹部職員が輪島市入りをしているという話を伺いました。当法人でも医療顧問であり、私の学生時代の同級生で現在金沢大学医学部長をしております

中村裕之教授に1日の発災直後に電話をしましたが、中々電話が繋がらない状態で、のちに繋がりました。金沢大学医学部関係者は職員、学生、大学関係者約2000人いるそうです。メディアで報道されているなかでは、珠洲市や輪島市の報道がほとんどですが、実は金沢市内、金沢大学医学部も非常に深刻な被災状況だと伺いました。例えば、私たちの震災の時もそうでしたが、階が上がるると同時に瓶が粉々に割れて廊下にガラスの破片が散乱しているという話でした。医学部長として中村教授より2000人の陣頭指揮を執っているというなかで、「能登半島の前の中越地震の時とは規模が違うので、どうしたらいいか」との話を受け、まずは、1週間は状況を把握していつ・誰に・何を・どのようにするかということを整理して、陣頭指揮を執っていくようにした方がいいと伝えたところであります。金沢市内の状況も深刻なようです。私の第二の学生時代を過ごした地でもありますので非常に心配をされている状況であります。

皆さんに申し上げたいのはいつどこでこのようなことが起こるかは分かりません。特に職員へ話しをしていたのはトイレが悲惨な状況、衛生的にも何百人と被災している人のなかでトイレの設置個所が数か所しかない、トイレの汚物を汲み取りに出来ない状況であるとのことなので、「簡易トイレがあれば助かるんだけどな」ということを言っていました。ただ、今は物流がストップしているなかで、手配をしたとしても届くのにはかなり時間がかかるというところで、即日、当法人の常務理事会にて支援物資を支援する方法や私も福島県の老人保健施設の会長をしておりますので、新潟、富山、石川の3県にどのような形で支援していったらいいのかということをお話ししている最中です。

皆さんにおかれましても、色々とお力を願うこともありますので、くれぐれも宜しくお願いしたいと思います。東日本大震災では、石川に限らず、新潟からも虚弱高齢者のベッドの確保等、応援を頂いたところでありました。今回は新潟もかなり大変な思いをされているということですのでこの1〜2週間は被災状況を的確に把握して対応をしていきたいと思えます。

話は変わり、今年は昇り龍ということで、診療報酬・介護報酬のダブル改定の時期であります。私達も色々国に主張してきたことが、どれだけ受け入れられるかは分かりませんが、新しい改定に向かって予習をおこななければなりません。それと、新年度4月からはじまる当法人グループの革新的な新体制を作っていくための大事な準備期間となります。4月から新年度を迎えるにあたって、職員一丸となって、グループ全体の陣頭指揮を執り行なって参りたいと思っておりますので、今年も何卒、ご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

ほんまたつや/医学博士  
主な役職等

- (医)生愛会グループ 理事長 総院長
- (社)福)生愛福祉事業団 理事長
- 福島県老人保健施設協会 会長
- 福島県医師会倫理審査委員
- 金沢大学医学部臨床教授
- 福島県立医科大学医学部臨床教授
- 奥羽大学歯学部客員教授
- 日本老年医学会 老健管理認定医
- 日本健康促進医学会 理事
- 日本認知症ケア学会 代議員
- 全国老人保健施設協会 前副会長

# 今泉先生の 苦言・直言！！

## テレビ番組の変遷にみる 教育の誤り



元福島県警察本部 刑事部長 今泉満臣氏  
(現 社会福祉法人 生愛福祉事業団 評議員)

に行きました。その後すぐに自宅にもテレビが来たような気がします。

その頃の番組で覚えているのは「時間よ、止まれ」という言葉で時間を止める「ふしぎな少年」、ひよっこりひょうたん島などです。

中でも印象に残っているのは木下恵介監督の「記念樹」という番組です。

養護施設の園児たちが退職する保母さんに贈った桜の苗木を通じ、その後の園児達の出来事を物語りにしていたと記憶していますが、私の実家では、毎回、家族全員で静かに涙ぐみながら見ていたものでした。

主題歌の歌詞は「桜の苗が大きく育つ頃 僕らはみんな大人になるんだ あいつとこいつ あなたと私・・・」というものです。この歌詞を口にするのと何故か、涙がにじんできます。

昔は良い番組をやっていた。テレビ番組はいつから低俗になってしまったのでしょうか。

それは、教育の誤りにあると思います。現在の教育は偏差値教育と言われるように、各種の試験の成績のみが人を評価する全てに優先されています。

意地悪で非道であつても成績が良ければおとがめはありませぬ。正直で優しい心を持つて親切であつても、成績が良くなければ評価はされませぬ。

だからイジメは無くなりません。良い成績(高い偏差値)で良い学校へ入り、良い職場に就職する、そして高収入を得る。そういう人を作ることが現在の教育の目的であると思えます。そういう教育を受け、勝ち残った人が、現代日本の社会各層の上位の立場にある人です。

その考えは、道徳教育はさほど重要ではない。儲かれば良い、今さえ良ければ、自分さえ良ければ良いというものになっていきます。ですから、大企業でも、あり得ないようなデータ改ざんなどの不正が後を絶ちません。

「大学」の一節に「徳は本なり、財は末なり、本を外にして末を内にすれば、民を争わしめて、奪うことを施す」と

あります。

その意味は「徳は本で財は末である。本である徳をおろそかにして、末である財を重んずれば、遂には民を争わせて奪い合うことを勧めることになるのである。」とあります。

現在の日本はこのような状態に近いと思います。

私は両親から「世間様のお役に立てるような人になれ」という教えを受けたことに感謝しています。

昭和前期に生まれた我々世代は、日本という国が少しでも真つ当な状態に戻るため、それぞれの親から厳しく指導されたことを思い起こし、今や死語となりつつある「義理、人情、友情、努力、根性、忍耐」などの言葉を、身を以て語り継いでいく必要があると思えます。

渡邊五郎三郎先生の著書の中に次の一文があります。ご参考まで。

《「耐える」ということが、人間の自由・幸福にそむくものとして、現代社会にうとんぜられてきたが、最近社会に頻発する諸事件が、人間形成の段階において「忍耐」「我慢」の習練欠如にあることが

指摘されている。有限な世界の中で人間が生きていくためには、克己とか足るを知るということは、皆が幸せになるための不可欠の条件であり、人間の知恵であつて、先人はそれを訓練体得することを当然としてきた。》

そんな私が最近よく見るテレビ番組は、「土曜日はフーテンの寅さん」などで、昔の時代に作られたテレビ番組や映画を見て憂さを晴らし楽しんでいきます。

寅さん、浜ちゃんはいつ見ても良いですね。皆さんも是非ご覧下さい。



いまいずみみつおみ 日本大学法学部卒  
福島県警察鑑識課長をはじめ、いわき中央警察署長や福島県警察本部刑事部長を歴任。現在、東洋システム株式会社顧問を務める傍ら、社会福祉法人 生愛福祉事業団 評議員を務める

# 本間達也先生の耳順を祝う会 盛大に開催



耳順を祝う会冒頭では、発起人代表の医療法人 生愛会 常務理事 生愛会ナーシング

## 発起人代表挨拶

を祝う会は、当初3年前前に企画され準備が進められておりましたが、コロナ禍により延期を余儀なくされ、今回3年越しの機会に150名の参加者がお祝いに駆け付け、盛大に挙行されました。

令和5年12月12日（火）、福島県福島市福島駅西口前にあるホテル福島グリーンパレス 瑞光の間にて、医療法人 生愛会グループ 創立者 本間達也理事長の耳順を祝う会が執り行われました。

本間理事長の耳順（還暦）



谷口裕子常務理事・生愛会ナーシングケアセンター施設長

ケアセンター施設長 法人統括看護部長の谷口裕子より挨拶と本間理事長のこれまでの功績の紹介があり、長年、本間理事長を傍で支えてきたからこそ秘蔵エピソードも披露され、会場には和やかな笑いが広まる一幕も。

## 来賓挨拶

続いて全国からの来賓代表として本間理事長と特に親交の深いお三方、一水会 木村三浩代表、本間理事長の金沢大学医学部大学院時代の同級生で親友である金沢大学医学部長 中村裕之教授、本間理事長が副会長として長年、公益社団法人 全国老人保健施設協会で活躍されていた際も



本間達也理事長 木村三浩一水会代表

「『医は仁術なり』という言葉にあるように、医療技術がいくら発達しても人として優しさをもって寄り添う姿勢はなくてはならない。愛国・憂国の精神が根底にある本間先生の医療人としての人柄はその精神を体現している。今後も生愛会グループの益々の発展、本間先生の夢の実現・活躍を切に願う。」と、お言葉

## 一水会盟友からの祝い

各種委員会の委員長を歴任し現在も全国的に活躍されている、血液内科医師 山野雅弘先生より、祝辞をいただきました。

## 学生時代の親友からの祝い

本間達也理事長の金沢大学医学部大学院 学生時代の同級生で親友の、金沢大学医学部中村裕之教授からは「本間先生は学生時代より常に頼りがいがあり、人を気遣う心を持っていて。職員に対しても愛情を持って家族のように思っている。日本の心を大切にしている先生だ。」と、お言葉をいただきました。



中村裕之金沢大学医学部長 教授

## 全老健の盟友からの祝い

最後に全国老人保健施設協会で共に活躍された、金沢大学医学部臨床教授の山野雅弘先生からは「本間先生が全国の老健施設の為に、先駆的に厚生労働省と交渉されてき



廣瀬美由紀常務理事からの記念品贈呈

## 記念品贈呈

花束贈呈は医療法人 生愛会 福島市信陵地域包括支援センター看護師平朋子より、記念品贈呈は、医療法人 生愛会 常務理事・法人統括介護部長 廣瀬美由紀より行いました。



山野雅弘 金沢大学医学部臨床教授

たことや委員会での取り組みは素晴らしい功績だ。」と、お言葉をいただきました。

# 特集 医療法人 生愛会グループ 理事長・総院長



小林興起  
新党やまと代表

本間達也生愛会理事長

川村博司生愛会院長

角田裕生愛会医師

木村三浩一水会代表

本間守男生愛会医師・理事  
神戸大学医学部 名誉教授

中村裕之金沢大学医学部長

渡邊健寿顧問弁護士

石山波恵  
福島市議会議員



石山波恵福島市議会議員

中村裕之教授

本間達也理事長

近野淳福島市商店街連合会副会長

**同級生にサプライズ**  
本間理事長の同級生（福島市議会議員 石山波恵先生、金沢大学医学部 中村裕之教授、福島市商店街連合会副会長 近野淳様）がご出席されており、本間理事長より壇上でのご紹介と花束贈呈のサプライズがありました。コロナ禍のため皆さんと耳順のお祝いができなかったためこの場をお借りしてお祝いでした。



## 本間理事長 謝辞

本間理事長からは、幼少期の環境から培った人と人との繋がり、不良少年から立ち直り医師となったコンプレックスをバネに、チャンス掴み取る気持ちで今日まで邁進し

て来ることができたのは、職員はもちろん、本日全国からお集まりいただいた方々の応援のおかげであり、改めて人との縁に恵まれていることを実感し、感無量であると感謝の意が述べられ、会場は温かな拍手に包まれました。

### 《発起人》

- 代表 谷口裕子（医療法人 生愛会 常務理事・施設長兼法人統括看護部長）
- 鈴木三千代（社会福祉法人 生愛福祉事業団 常務理事）
- 伊藤健博（医療法人 生愛会 常務理事）
- 廣瀬美由紀（医療法人 生愛会 常務理事兼法人統括介護部長）
- 佐久間理恵（医療法人 生愛会 常務理事）

# グループ クリスマス会開催

## 法人クリスマス会 開催

令和5年12月12日（火）、医療法人 生愛会グループ 理事長・総院長の本間達也先生の耳順を祝う会に引き続き、生愛会グループクリスマス会が開催されました。

元福島市議会 副議長、生愛福祉事業団 評議員 木村六朗先生の乾杯の発声により宴席となり、会場が更に盛り上がりました。



乾杯の様子



元福島市議会 副議長  
生愛福祉事業団 評議員 木村六朗先生

## 3年越しの サプライズ

本間理事長の耳順のお祝いのために、当時から準備していた赤いネクタイを3年越しにお渡しすることができました。生愛福祉事業団 常務理事・施設長 鈴木三千代より職員を代表し、サプライズで贈呈となりました。



## 新党やまと代表 小林興起先生挨拶

来賓挨拶といたしまして、新党やまと代表 元財務副大臣 元衆議院議員 小林興起先生よりご挨拶をいただきました。

小林興起先生は遠方からこの日の為に駆けつけてくださり「本間先生や職員の皆さんには、ぜひ地域医療・保健・福祉を担う先導者となつていただきたい。」と、医療法人 生愛会グループに励ましのお言葉をいただきました。



新党やまと代表 小林興起先生（元財務副大臣・衆議院議員）

## クリスマス会で久しぶりの交流

クリスマス会では、来賓の皆様や生愛会グループの医師や役員、新入職員、ベトナムからの技能実習生などの紹介があり、その後、各席では、コロナ禍で交流を控えざるを得なかった時間を取り戻すかのように活発なコミュニケーションが図られました。



白和瀬神社  
本田辰男宮司



医療法人 生愛会  
川村博司院長



佐藤武寿福島県医師会長

一水会  
木村三浩代表

医療法人 生愛会  
本間守男理事・医師



クリスマス会の余興は、ジャズ演奏が披露されました。ジャズが響く街 杜の都仙台のライブハウス、仙台老舗ジャズバークロスビーより、ギタリストの村上徳彦様とボーカルのジュディス様が駆けつけて演奏してくださいました。王道のジャズの名曲やクリスマスソングのジャズバージョンが会場内に響きわたったり、ダンスをしたり一緒に歌ったり大いに楽しみました。



## 仙台老舗ジャズバー クロスビーによるジャズ演奏



ジャズ演奏の終了後は本間達也理事長よりお礼の花束贈呈と感謝の言葉がありました。更に、ギタリストの村上様も耳順の年ということ、本間理事長より還暦のお祝いとしてプリザーブドフラワーが贈られました。

(右) ギタリスト  
村上徳彦様  
(中央) 本間達也理事長  
(左) ボーカル  
ジュディス様



本間理事長を壇上に招いて川村博司院長の一本締めで閉会

医療法人 生愛会 常務理事・川村博司院長の閉会の挨拶では、「本日は、ありがとうございました。私、常勤の医師として就任し、まだ間もないですが、日々、生愛会グループの取り組み・本間理事長の功績は素晴らしいと思っております。これからも宜しくお願います。」とご挨拶があり、生愛会グループの発展と益々の活躍を祈念して一本締めのご発声をしていただきました。

2023年度 医療法人 生愛会グループクリスマス会は盛会のうちに閉会となりました。

## 医療法人 生愛会 院長 川村先生の閉会挨拶

# 福島北警察署所長へ年始挨拶

## 福島北警察署

### 古関署長へ年始のご挨拶

令和6年1月17日(水)、本間理事長のご友人でもある元福島県警いわき中央警察署長(警視正)の橋本宗男様と福島北警察署の古関署長にご挨拶のため訪問しました。

本間理事長より、昨年7月に生愛会グループの敷地内で数度目撃されていた不審者の対策として、夜間のパトロールや不審者への注意・対応を行って頂いたことへの感謝をお伝えしました。また、日頃より、信陵地域管内において高齢者への詐欺や認知症高齢者の徘徊など、多岐にわたり対応して頂いていることへの

お礼を申し上げます。古関署長より、認知症高齢者の捜索願いは年々多くなっており、昨年より更に増していること、自宅から遠い予測を超えた場所で発見されるなど、驚くことが多いとお話がありました。

話しは変わり、熊の被害についてですが、昨年は全国的に民家や街中で熊が出没し、人的な被害が出ております。本間理事長より、生愛会グループでも敷地内で猪が発見され職員が不安を抱えている現状や、熊避けの電子笛や地元猟友会の協力で檻を設置するなど対策を講じていることをお伝えしました。そのことについて、古関署長より信陵地域管内では今のところ熊の目撃情報はないものの、目撃した際に通報していただければすぐ対応するとお話し頂きました。



(左) 元福島県警いわき中央警察署長(警視正) 橋本宗男 様  
(中央) 福島北警察署 古関隆一 署長  
(右) 医療法人生愛会グループ 本間達也 理事長

最後に、橋本様と小関署長より、今後も地域の安全のため、地域高齢者や高齢者を支えている施設職員の安全のため共に協力していきますと、心強いお言葉を頂きました。

# 生愛ヒルトップルネサンス家族懇談会

## 家族懇談会を開催

令和5年12月2日(土)、10時~11時、医療法人 生愛会 生活期総合リハビリテーション 医療ケアセンターにて家族懇談会を開催し、6組のご家族が出席されました。家族懇談会の内容についてご報告させていただきます。

### ①食費変更について

食材や物流、燃料費や人件費等の高騰に伴い、生愛会ナースングケアセンター(老健と本体通所リハビリ)では、昨年12月より食費の値上げを実施していましたが、総合リハでも令和6年4月より食料値上げについてお話しさせて頂きました。

朝食 540円→570円  
昼食 570円→640円  
夕食 640円→640円  
合計(1日) 1,750円→1,850円となります。

ご家族より「食事を楽しみにしている入居者が多いため、値上げをせずに一品減らすよりの、食費をあげてもらっても良いので、今の食事の質を落とさないでほしい。」という意見を多数いただきました。②行政からの連絡等の情報共有について



家族懇談会の様子

昨年秋冬頃は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきましたが、その矢先、インフルエンザが全国で爆発的に増加しました。新型コロナウイルス、インフルエンザの感染予防について、基本的な対策は同じです。手洗い、換気、必要時のマスクの着用など、引き続き感染防止にご協力をお願いいたします。全国、または市内の感染状況により、ご家族の面会制限や制限解除等、刻一刻と状況が変化しますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

③ご家族からのご意見  
懇談会の中でご家族より、外泊・外出時の連絡手段についてご質問がありました。

**記入例 外出・外泊カード**

|    |           |
|----|-----------|
| 氏名 | 生愛 太郎     |
| 日時 | 令和5年12月7日 |
| 時間 | 15時30分    |

緊急時や遅れる場合は連絡をください。

**生愛ヒルトップルネサンス**  
080-5579-3204 (担当: 廣瀬)

医療法人 生愛会 カード要返却 2023年12月25日様式

外出・外泊時に17時30分を過ぎると、留守番電話に切り替わるため、現場職員との連絡手段について改善の要望がありました。

ご要望に対し、施設側では外出や外泊時に緊急連絡先を記載したカードをお渡しすることと致しました。戻り時間が遅れる時や、外出(外泊)中の緊急時に、カードに記載してある連絡先にご一報ください。

また、家族懇談会について定期的に開催していく方向でありますが、開催日時につきましては頻度を含め検討中です。ぜひお気軽にご参加ください。

## 施設内研修外部講師

令和5年11月の施設内研修は「認知症について」をテーマに実施しました。

認知症について基本的な知識を確認し、認知症を思う利用者に向き合うべきか学ぶことを目的とし、今回は、外部講師として福島県介護福祉士会所属 福島県認知症介護指導者の安西直美先生にお越し頂きました。



福島県認知症介護指導者 安西直美先生

参加者は看護・介護職員だけでなく、リハビリスタッフや事務職員含め、多くの職種が参加するため、安西先生からは「認知症とは何か？」という基礎知識から始まり、認知症の定義と原因疾患などを分かりやすく教えて頂きました。また、認知症にはさまざまな種類があり、それぞれの認知症の症状の違いや中核症



状に対する具体的な対応方法や、認知症を患った利用者に接するときの注意点について話がありました。

受講者数が多く、感染症予防のため喚起を実施しながらの開催でした。新型コロナウイルスが昨年5月より第5類になりましたが、感染予防のためグループワークを行うことができませんでした。しかし安西先生の講義は分かりやすく、具体的な内容だったため参加した職員からは「分かりやすかった。」「明日から実践したい。」「など感想があり充実した時間でした。今回学んだ「認知症ケア」について職員全体で取り組んでいきたいと思えます。安西直美先生ありがとうございました。

## 石山波恵先生（福島市議会議員）による 第4回健康体操（脳トレ）スクール開催

日時 令和6年1月18日（木）  
場所 生愛会中央医療クリニック  
ヘルスケアスクール

新年を迎え初めての石山波恵先生による、健康体操（脳トレ）スクールの開催となりました。今回は石山波恵先生より新年に向けてのお気持ちを聞かせて頂きました。

石山 「皆様こんにちは、健康推進アドバイザーの石山波恵です。昔は人生50年でしたが、今や100年時代となりました。昨年の敬老の日のデータでは、日本全国100歳以上の方は9万2千139人でした。日本は世界一の長寿国です。大事なことは長く生きることだけでなく、いつまでもボケることなく自分の



「腕を前に〜」石山波恵先生の声に合わせて体操をする様子

【石山波恵先生のプロフィール】  
・福島市議会議員（2期）  
・（有）波恵ダンス代表取締役  
・医療法人 生愛会グループ  
健康推進アドバイザー



令和6年1月1日（月）の16時10分に、能登半島を震源として、最大震度7を観測した地震が発生しました。その被害により、石川県の発表では、石川県内で死亡が確認された人の数は2月8日時点で241人、住宅被害は5万8855棟と甚大な被害となっています。

地震において犠牲となられた多数の方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

生愛会グループでも緊急支援募金箱を設置し、皆様にご協力をお願いしております。被害を受けられた皆様の安全と1日も早い復興をお祈り申し上げます。



全施設 募金被災  
は社 同済  
人福 共済  
は社 共済  
法災 共済  
療災 共済  
は被 共済  
金のす 共済  
援原ま 共済  
義川れ 共済  
た石ら 共済  
りけ生 共済  
まよ届 共済  
集健へ 共済  
老設ま 共済

## 能登半島地震 緊急支援募金箱設置

# 生愛会グループ作品展・福祉作品展で受賞

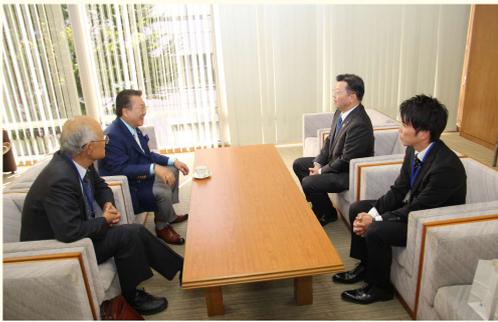
## 第15回生愛会グループ作品展開催

毎年恒例となりました、生愛会グループ作品展が今年も令和5年10月2日～31日の期間、東邦銀行本店様のロビー展として開催となりました。

今年で15回目を数える生愛会グループ作品展は、医療法人生愛会グループの各事業所を利用しての入所者・利用者が生活リハビリの一環として制作した手芸・工作作品を広く地域の方々にご覧いただき、介護施設の現状と取り組みを知っていただくとともに、入所者・利用者の生きがいづくりを目的に、地域貢献として毎年秋に開催しております。今年も、新たな取り組みとして、事業所ごとに作品作りのテーマを掲げることにより



会場を視察する本間理事長（手前）と東邦銀行 田辺常務（奥）



和やかに懇談する本間理事長(左奥)、齋藤事務局長(左前)、東邦銀行 田辺常務(右奥)

した。ユニークでインパクトのあるテーマの書字もヘルスケアスクールの利用者2名にご協力いただいております、筆字の力強さが作品に華を添えていました。10月25日には本間理事長、齋藤事務局長に会場にお越しいただき、理事長賞として全作品のなかから3点を選定いただきました。会場視察に同席いただいた東邦銀行の常務 田辺様からは、銀行に来店したお客様がよくご覧になっているとの様子を伺い、とても素晴らしい作品が多いという褒めの言葉を頂戴しました。今後も職員一丸となって利用者の生きがいづくりに取り組んで参りたいと思います。

## 生愛会グループ作品展表彰式

令和5年12月12日（火）、第15回生愛会グループ作品展表彰式が行われました。

理事長賞受賞作品3点のお披露目とともに、生愛会ナーシングケアセンター入所者安井滋夫さん、生愛ガーデン入居者小寺富子さんの2名が代表として表彰状を授与されました。また今年も、全作品の出展者に参加賞として、3Dプリンターで作成したスリークロス（生愛会グループのシンボルマーク）をモチーフにしたロゴマークのキーホルダーを準備しており、合わせてお渡し致しました。受賞者両名とともに、会場からの拍手に笑顔を見せられ、「ありがとうございます。と受賞の喜びをお話されておりました。」



本間理事長より賞状を授与される小寺富子さん（写真上）と安井滋夫さん（写真下）



### 第15回生愛会グループ作品展受賞作品



作品名「秋の味覚」  
小寺富子さん  
阿部キミさん



作品名「ロープアート」  
渡邊経子さん



作品名「だるま」  
安井滋夫さん

生愛会グループからも各事業所の作品が展覧され、見事ヘルスケアスクールの作品が福島市長賞、通所リハビリテーションの作品が福島市老人クラブ連合会長賞、生愛ガーデンの作品が努力賞を受賞しました。

受賞の快挙に各事業所の利用者の方々も、大変お喜びになり次の展覧に向けてますます意欲が高まった様子でした。



作品名「花のリース」  
通所リハビリテーション



作品名「風神雷神」  
ヘルスケアスクール



作品名「モザイクアート辰」  
生愛ガーデン

賞  
福島市老人クラブ連合会長賞

賞  
福島市長賞  
賞  
努力賞

## 福島市福祉作品展で受賞

令和5年12月1日（金）～4日（月）の期間、福島市アクティブシニアセンター・アオウゼにて、第49回福島市福祉作品展が開催されました。

# 地域交流・施設見学受け入れ報告

## 福島市大笹生地区 ふれ愛交流会

令和5年12月7日(木)、大笹生集会所にて令和5年度大笹生地区ふれ愛交流会が開催されました。

ふれ愛交流会は、福島市社会福祉協議会大笹生協議会主催の催しで、日中ひとりで過ごしている独居高齢者をお誘いし、レクリエーションを楽しみながら皆で食事を取って交流を深める昼食会として元々開催されておりました。しかし、コロナ禍でこの4年間は飲食を伴う交流である昼食会は、感染予防の観点から中止となり、今年、4年ぶりに再開となりました。

しかし、今年もインフルエンザが流行していることもあり、従来の昼食会ではなく交流会として、飲食なしの形で開催となったため、例年より少ない約30名の参加者でしたが、町内会長や民生委員の協力のもと、地元の方々によるマジックショーや出前講座の落語等の余興も行われました。和やかな雰囲気での交流を深めることができました。

医療法人 生愛会 福島市信陵地域包括支援センターからは、所長の佐久間理恵、参与の伊藤健博が参加し、佐久間理恵所長より「オーラルフレイル対策について」というテーマで講話とストレッチが披露されました。参加者の皆さんも普段行わない首のストレッチや嚥下機能を鍛えるためのごつくん体操、唾液腺のマッサージなどについて、楽しみながら取り組まれ、おいしく食べるために必要なことについて、実感していただくことができたと思います。

今回、久しぶりの開催となりましたが、地域行事を開催することは地域全体を活性化させることにも繋がると感じましたので、今後も積極的に地域の関係機関と連携し取り組んで参ります。



参加者と一緒に唾液腺マッサージを実施する佐久間信陵包括所長

## 笹谷方部民生児童委員 施設見学

令和5年11月15日(水) 笹谷方部民生児童委員と事務局23名が生愛会グループの施設見学に来所されました。

当初は昨年の同時期に予定されていた見学会ですが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期となり、今回1年ぶりの開催に至りました。

コロナ禍での改選を経て、民生児童委員の方々も新たな顔ぶれとなり、当法人グループを初めて訪れたという方も多く、本間理事長からの施設概要の説明に対して熱心に耳を傾ける様子が見られました。

今回ご案内したのは、医療法人 生愛会 生活期総合リハビリテーション医療ケアセンターと



民生児童委員の皆さんへ挨拶する本間理事長



生愛ガーデンを案内する鈴木施設長

特別養護老人ホーム 生愛ガーデン・グループホーム 生愛レジデンスの3事業所であり、それぞれ特色が異なるため民生児童委員の方々からの質問も多く聞かれました。

約1時間の短い時間でしたが、民生児童委員の皆さんからは、「地域のなかに生愛会グループがあることが安心感に繋がる」「高齢者の方から相談されたときに役立つ情報を学べた」といった嬉しいお言葉もいただきました。

今後このような機会を通じて生愛会グループを知っていただき、民生児童委員の方々の密な連携を通じて、地域に貢献していけるよう、職員一丸となり取り組んで参ります。

## 福島市社会福祉協議会 笹谷協議会より 歳末助け合い義援金 授受

令和5年12月19日(火)、福島市社会福祉協議会笹谷協議会より、永澤信弘会長、長嶺博光副会長、宮島正喜副会長、事務局の計5名が来所され、生愛会グループへ歳末助け合い義援金の贈呈をいただきました。笹谷地区社会福祉協議会の皆様からは、毎年、地域の身近な介護施設としてその業務に役立ててほしいという願いから義援金を頂戴しており、深く感謝を申し上げます。地域の方々より様々なご支援を賜り、支えていただいていることに改めて感謝の気持ちをもって、地域に貢献できる事業所としてその役割を果たして参ります。



笹谷地区社協の皆さんより義援金の贈呈を受ける本間理事長 (中央)

## 附属介護老人保健施設 生愛会ナーシングケアセンター

令和5年9月18日(月)に入所している皆さんの健康と長寿を願い敬老会を実施しました。

2階・3階のフロアごとに分かれて、介護福祉士の渡辺一彰と松本典明がギターで伴奏し、歌詞カードをみながら入所者の皆さんと一緒に「ふるさと」を合唱しました。

その後、入所者代表の方から、御礼の言葉を頂戴しました。「本日はどうもありがとうございました。これからも健康で、元気に長生きできるように頑張りますのでよろしくお願ひします」と大きな声で話されていました。



コロナウイルスが流行する前は、利用者の皆さんが自主的に歌詞カードを見ながら、テーブルを囲み、伴奏なしでも誰かが歌い出せばみんなが歌い出すような、賑やかな雰囲気でしたが、コロナ禍で声を出すレクリエーションを自粛して歌えない状況が長く続いていました。敬老会の当日は思いっきり大きな声で職員と一緒に、合唱する事ができました。

久しぶりに入所者の方の大きな声や笑い声がフロアに響き、制限のない日常生活が戻ってきたことを嬉しく思ったと同時に、この状態がずっと続くことを強く願いました。

また、当日の昼食はお祝い御膳として、特別なメニューを管理栄養士が献立を考え提供しました。

入所者の方の中には、嚥下に障害があるため固形物が食べられない方もいらっしゃいます。嚥下に障害がある方も同じメニューが食べられるように調理方法を工夫して提供しました。

敬老の日御祝い御膳として刺身やてんぷらが並び、めつたに提供されない献立のため皆さん本当に喜ばれておりました。

面会制限や外出制限など、不自由を感じる事が多かったこの数年間ですが、そのような日々の中でも、入所者の皆さんは毎日、体を動かして目標に向かってリハビリを続けてきました。敬老の日は「多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し長寿を祝う日」です。今後も、入所している皆さんの日々の努力を敬いながら、笑顔ある元気な毎日を送らせるよう支援していきたいと思ひます。



## 本体通所 リハビリテーション

本体通所リハビリテーションでは、令和5年9月18日(月)午後2時〜午後3時で敬老会を行いました。昼食は「敬老御膳」を提供しました。栗入り赤飯や天ぷら盛り、お刺身二種盛り、ほうれん草としめじのお浸し、お吸い物、梨など、皆さん笑顔で召し上がっていました。食後は、利用者からリクエストがあった昔の歌謡曲を歌いながら、リズムに合わせた音楽体操をして、楽しく過ごされました。

職員から利用者の皆様へ、日頃の感謝の気持ちと「いつまでもお元気でいてもらいたい」という願いを込めた敬老会イベントになりました。



敬老御膳の提供



社会福祉法人 生愛福祉事業団  
生愛ガーデン

令和5年9月15日(金)に、生愛ガーデンにて敬老会が開催されました。生愛ガーデンではご長寿の方が多く在籍されており、最高齢の方は百四歳。米寿や白寿の方にも施設長より理事長代理で表彰状の授与が行われました。



余興は介護係長の藤井と新入職員のアサヒを組んで「傘まわし」と「リングキヤッチ」を披露しました。ベテラン職員と新入職員の間で息がピッタリで会場を盛り上げました。昼食は赤飯に金目鯛、茶碗蒸しなど、いつもと違った豪華なメニューに利用者の皆様も舌鼓を打っていました。



生愛レジデンス

生愛レジデンスでも、令和5年9月18日(月)に、敬老会が開催されました。生愛ガーデンと同様に、面会制限が緩和され、ご家族をご招待しての開催は4年ぶりということもあり、大変盛り上がりしました。



余興は、職員が仮装をして「マツケンサンバ」を踊りました。会場が盛り上がり、利用者の方も気分上々で「南京玉すだれ」をお披露目してください、大盛況で敬老会を終了しました。



「南京玉すだれ」

公益社団法人 全国老人保健施設協会主催  
全国大会 in 宮城開催 (令和5年11月21日・22日)

職員5名が大会参加

仙台国際センターにて全国老人保健施設協会の全国大会が開催されました。法人グループより5名の職員が参加致しました。大会テーマは地域共生社会の復権と老健くデジタル化時代の絆と題し、デジタル化社会という新しい時代でも人と人との繋がりが、絆ある地域共生社会を考える大会となりました。



講演では施設内での転倒についての内容があり、転倒は加齢に伴う症候群であり、施設に入所し環境が変化することによって、転倒は増える危険性が高いことを再確認し、

より一層、利用者の方々やご家族との情報共有、確認が必要であると学びました。トークショーではお笑いコンビのサンドウィッチマンが登場され、大盛況でした。

口演発表・座長対応

当法人グループからは、八島真奈美法人歯科衛生士長が「代償的アプローチ・間接訓練で誤嚥が改善された事例」で口演発表を致しました。加齢や全身状態の低下に伴い、誤嚥していた利用者に対して食事の内容やリハビリテーションの実施、食事時の関わり方を統一したことで誤嚥性肺炎を予防することができたと

いう事例を発表致しました。その他にも、谷口裕子施設長、伊藤健博常務理事、八島真奈美法人歯科衛生士長が、各口演セッションの座長を務め、全国から参加した老健スタッフの発表を進行・コメントする役を担ってきました。

新型コロナウイルス感染症が流行後、未だ不透明な中で全国大会や研修会の開催がオンラインとなるものが多くあります。そういった環境下ですぐきちんと感染対策をし、現地に足を運んで、全国から参加した老健施設で働く仲間との発表を拝聴することは大変学びとなり、良い刺激となりました。

福祉機器や介護用品の展示もあり、利用者の方々により良いケアができるよう、現在主流な商品や改善されている介護用品を見て、触って検討して参りました。学ぶ機会をいただいていることに感謝し日々の医療・福祉・ケア活動に反映しスキルアップして参ります。

- ↑写真左から
- ・八島真奈美歯科衛生士長
  - ・谷口裕子施設長
  - ・吉村実桜里理学療法士
  - ・伊藤健博常務理事
  - ・橋本佳彦介護主任



←展示会場でオムツの新品を吟味する様子

# 社会福祉法人 生愛福祉事業団 誕生祭

## 開設から21周年

生愛福祉事業団の生愛ガーデン（特別養護老人ホーム）生愛レジデンス（グループホーム）は、平成14年10月1日にオープンしました。それから早いもので21年。開設当初（約20年前）は、小規模で30床の特別養護老人ホームも近隣にはなく、グループホームもまだまだ市内に整備されていない状況でした。認知症の方も年々増加傾向にあり、おかげ様であつという間に満床となり、現在に至ります。

開設当初よりご尽力いただいた役員の方、常に利用者の方や職員を気にかけて、支えてくださった地域の方々に深く感謝申し上げます。



開設前の様子



令和5年10月12日（木）、生愛ガーデン屋上にて、開設21周年を記念して「生愛福祉事業団誕生祭」が開催されました。

本間理事長はじめ、日頃よりお世話になつていらっしゃる諸先生方をお招きし、利用者の方と一緒に祝いをしました。



大きな誕生日ケーキが登場（疑似ケーキ）。ローソクを21本立てた



本間理事長に最後の1本を立てて頂きました。余興はよさこい踊りと

花笠音頭を元氣よく踊り、途中おみこしも登場して大盛況でした。また余興が終わると芋煮会。牛肉を使用した「山形風芋煮」と、豚肉を使用した「福島風芋煮」の2種の食べ比べをしていただき、カボチャやキノコなど、秋の味覚を堪能しました。屋外で食べる食事は美味しさ倍増です。日差しが暑いくらでしたけれど楽しいひと時でした。

「秋の味覚を堪能」



「山形風芋煮と福島風芋煮」

「手作りみこしの登場」



「よさこいと花笠音頭」

## グループホーム 生愛レジデンス 忘年会



令和5年12月27日（水）に、生愛レジデンス毎年恒例の忘年会が開催されました。本間理事長に1年間の感謝の気持ちを込めて来年干支をあしらった大きな熊手を利用者の方々と作り、プレゼントしました。手先が器用な方が多いので出来栄は上々で、本間理事長にも喜んでもらい利用者の方々も安心していました。



忘年会のお食事は、昨年も好評だった鍋に決定。この季節に欠かせないものです。味付けは醤油ベースで鶏肉の出汁がとておいしかったです。あつという間に完食。鍋が空っぽになつて、おかわりはないの？と、催促されてしまいました。



おながが満たされた後に、本間理事長に歌のプレゼント。「青い山脈」を利用者の皆さんで合唱しました。「理事長先生に聞いてもらうんだ」と毎日、一生懸命に練習したので、当日うまく歌えて、皆満足でした。



今年も宜しく申し上げます

# ベトナム人技能実習生さらに4名受け入れ

## ベトナム人技能実習生 に防犯指導 (福島北警察署より)

令和5年11月6日(月) 福島北警察署 淀川警備係長と笹谷交番中里巡查2名が来所され、当法人で介護業務に従事している特定技能実習生2名と技能実習生4名合計6名に対し、防犯について説明をして頂きました。



講話する淀川警備係長

福島県内でも、他の技能実習生と接点を持ち、その後、技能実習生が犯罪に巻き込まれた事例があり、再発防止にむけて各事業所を巡回しながら直接、話を聞き、質問をしながら具体的な注意点を指導して頂きました。

### 【犯罪に巻き込まれないための注意点】

①技能実習などで福島に来て  
いるベトナム人から、何か荷物を預かって欲しいと言われ  
ても、絶対に預からない(犯  
罪に係る物が入っている可  
能性がある)

②誰かが、泊めて欲しいと訪  
ねてきても絶対に泊めてはい  
けない

以上2点を強調してご指導  
頂きました。

また、外出する時は必ず、  
在留カードを携帯するように  
ご指導を受けました。

福島市で従事する技能実習  
生の数が増加し、犯罪に巻き  
込まれない様に、警察署の方  
が事業所を巡回しながら、こ  
の様な活動をしている事を知  
りました。せっかく日本に、  
福島市に来てくれたのだから  
少しでも長く安全に働けるよ  
う支援します、とお話を頂き  
ました。

新しい技能実習生はまだ、  
十分に日本語が理解できない  
ので、先輩である特定技能実  
習生に通訳してもらいなが  
ら、説明を聞きました。

### 【挨拶】

#### グエンヴァンウィン

25歳 男性

介護の仕事は頑張っていま  
す。仕事は楽しいです。  
日本語の勉強も頑張ります。  
よろしく願います。



#### ホアンティマイチャン

22歳 女性

日本語が難しく、まだ戸惑  
うこともありですが、頑張っ  
て勉強しています。夢は、介  
護福祉士になることです。  
よろしく願います。



#### グエンティトウジエウ

21歳 女性

職員のみなさんに親切にし  
てもらっています。仕事はと  
ても楽しいです。仕事を早く  
覚えたいです。7月にある日  
本語検定試験を頑張りたいと  
思います。



#### チャンティキムガン

19歳 女性

介護の仕事は楽しいです。  
利用者のみなさんは優しいで  
す。長く日本で働きたいと思  
っています。日本語検定N3  
合格に向けて、一生懸命日本  
語を勉強しています。よろし  
く願います。



### ベトナム人技能実習生に 自転車講習会を実施

技能実習生には法人から電  
動自転車を貸与し、近所への  
買い物などに使用しておりま  
した。昨年、また新たに技能  
実習生を迎え入れ、自転車の  
数も増台されました。

道路交通法の一部改正によ  
り、自転車利用者に乗車用ヘル  
メットの着用努力義務が課  
されたことを伝えました。ま  
た、本間理事長からヘルメッ  
トには見えない帽子タイプの  
ヘルメットを買って頂きまし  
た。

防犯のため、鍵のかけ方や  
管理の方法などみんなで再確  
認をしました。





医療 保健 福祉 総合11事業 総職員200名  
医療法人 生愛会グループ空撮全景



### 4号館

地域複合型総合施設

### 生愛会 総合リハビリテーション医療ケアセンター

〒960-0251 福島市大笹生字向平 6-1

内科・整形外科・リハビリテーション科・神経内科・  
もの忘れ外来・歯科・口腔外科・摂食嚥下リハビリテ-  
ーション科・放射線科

#### ● 生愛会中央医療クリニック

TEL/FAX 024-555-5963 [E-mail] clinic@seiaikai.jp

#### ● ヘルスケアスクール

TEL 024-558-5568 FAX 024-558-5564

#### ● 訪問介護

#### ● 生愛会ホームヘルプステーション

TEL 024-558-8139 FAX 024-558-8130

#### ● 福島市信陵地域包括支援センター

TEL 024-558-7867 FAX 024-558-7865  
[E-mail] houkatsu@seiaikai.jp

(サービス付き高齢者向け住宅・44戸)

#### ● 生愛ヒルトップ・ルネサンス

TEL 024-558-1539 FAX 024-558-1536

### 交通のご案内

**お車で**  
東京から 東北自動車道・東北中央自動車道 約265km 福島大笹生 IC お車で約5分

**電車で**  
JR 東京駅 東北新幹線 約1時間20分 JR 福島駅 タクシーで約15分  
バスで(※) 約20分  
(※) 折戸行乗車、折戸停留所下車、停留所より徒歩5分

### 本館

### 医療法人 生愛会

〒960-0251 福島市大笹生字向平 1 3-1

附属 介護老人保健施設(100床)

#### ● 生愛会ナースングケアセンター

TEL 024-555-2244 FAX 024-555-2241  
[E-mail] nc-c@seiaikai.jp

#### ● 生愛会居宅介護支援センター

TEL 024-557-7773 FAX 024-557-7774  
[E-mail] sien@seiaikai.jp

#### ● 生愛会本部会館

TEL 024-555-2244 (内線1830) FAX 024-555-2241

### 2号館

### 社会福祉法人 生愛福祉事業団

〒960-0251 福島市大笹生字向平 1 2

特別養護老人ホーム

#### ● 生愛ガーデン

TEL 024-555-5311 FAX 024-555-3611  
[E-mail] garden@seiaikai.jp

グループホーム

#### ● 生愛レジデンス

TEL 024-555-4611 FAX 024-555-3687  
[E-mail] residence@seiaikai.jp

### 3号館

### グランヒル生愛 (医師宿舎・職員宿舎)

### 編集後記

2024年が始まりました。2024年は甲辰(きのえたつ)です。陰陽五行説によると「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があるそうです。1964年も甲辰で、東京オリンピック開催や東海道新幹線開通などが国境を越えて行き来し、新しい技術が広く使われる出来事がありました。2024年もパリオリンピックの開催や新しい技術の更なる普及などあるかもしれませんね。皆様にとって、2024年は努力が実る年になるよう願いを込めて、生愛タイムズ編集いたしました。是非、ご覧ください。  
(医療法人 生愛会 常務理事・法人統括看護部長 生愛会ナースウイング 施設長 谷口裕子)

